

信州大学 SVBL 「桑まるごと活用塾」 開発



くわりんとう

信州大学サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (SVBL) では、平成 19 年度より「信州特産 桑利用 研究プロジェクト」を推進しています。その活動に関連して、信州大学の教職員・学生参加型の「桑まるごと活用塾」を平成 22 年度に発足しました。このたびその活動成果として、桑葉を利用した「くわりんとう」を企画し、商品化することができました。今後も桑の有効利用の研究活動を発展させ、地域の皆様と信州大学の教職員・学生との交流を深めながら、地域産業に貢献できるよう活動を進めていきたいと考えています。



©2012 Satellite Venture Business Laboratory, Shinshu University. All Rights Reserved.

桑まるごと活用塾
イメージキャラクター

桑まるごと活用塾について

★主メンバー

2012年度 学生10名(学部3年生:5名, 学部2年生:5名)

★特徴

研究面: 桑資源の有効活用, 機能性成分の有効活用方法の開発
教育面: 学生のベンチャーマインド教育/キャリア教育
産業面: 地域産業の活性化

★活動内容

1. 桑の葉・条・実・根の利用方法を検討する(研究開発プロジェクト)
2. 桑の葉・条・実・根を利用したビジネスプランを立案する。(ビジネス構築プロジェクト)
3. 成果を地域に還元する方策を考え, 市町村と協同する。(地域貢献プロジェクト)



バイオマスとしての桑



桑バイオマスの有効利用



桑について 桑は、一般的な樹木の中では比較的成長速度が速く、生産性が高い樹木です。桑に含まれる成分や、バイオ燃料のバイオマスを、安定的に活用・供給できると考えています。ちなみに、現在信州大学繊維学部では約 500 種の桑を保有しています。

報道歴

- 2011年2月26日 東信ジャーナル「桑の実や葉でグミ, かりんとう「桑まるごと活用塾」,
- 2012年3月8日 信濃毎日新聞「信大ベンチャー 桑からお菓子」,
- 2012年4月29日 信濃毎日新聞「上田・蚕養国神社春祭り」,
- 2012年4月29日 東信ジャーナル「大星神社敷地内の蚕養国神社の春季大祭礼！」